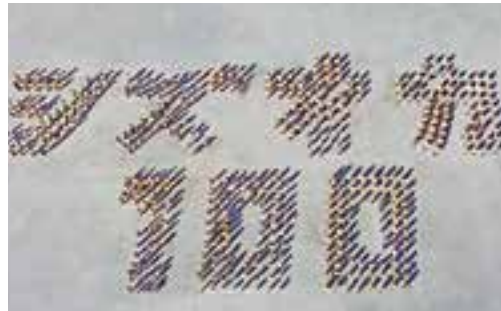




📍 結成100周年記念碑 除幕式



📍 結成 100 周年記念開会式 📍 結成 100 周年記念人文字

📍 静岡鉄道ヘッドマーク 焼津第1団BS隊見学

## CONTENTS

年頭のご挨拶	2	カブつうしん	11
静岡県連盟 連盟長 川勝平太氏		ボーイ通信	12
静岡県連盟 理事長 村松武博氏		指導者だより	13
結成100周年記念事業 広報活動と記念集会!!	4	金谷第3団ナイトウォーク	14
結成100周年記念事業 記念表彰式	6	友情章おめでとう21名の仲間	14
結成100周年記念式典 記念式典／レセプション	7	マスコミコーナー	15
新春企画		お知らせコーナー	16
川勝連盟長に村松理事長が特別インタビュー	8	・講習会開催のお知らせ	
シェルターを作成せよ! 静岡第14団カブ隊	10		



## 年頭所感



一般社団法人  
日本ボーイスカウト静岡県連盟 連盟長

### 川勝平太

明けましておめでとうございます。

日本ボーイスカウト静岡県連盟の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、静岡県連盟の100周年を、皆様と共に迎えることができ、大変光栄に存じます。また、関連行事の企画、運営に携われた多くの関係者の皆様に、深く御礼申し上げます。

昨年5月に熱海市で開催予定であった全国大会のオンライン開催への変更をはじめ、ボーイスカウト運動は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けております。しかし、皆様の熱意と創意工夫がある限り、スカウト活動の灯が絶えることはありません。

本年は、日本連盟の創立100周年の年です。記念事業の一つとして計画されております、8月の第18回日本スカウトジャンボリーは、東京中央会場と全国のサテライト会場を結んで開催されます。こうした新たな取組により、全国のスカウト同士の絆はより強固なものになると確信しております。

全国に先駆けて新たな100年を歩み始めた、静岡県連盟のスカウトの一人ひとりが、全国のスカウトたちの先導役として、本年も活躍されることを祈念しております。

本県は、県政の基本理念に「富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり」を掲げ、「才」を生かし「徳」を積み、社会や人のために貢献する「才徳兼備」の「有徳の人」づくりに取り組んでおります。ボーイスカウト運動は、本県の人づくりと方向を同じくするものでありますので、静岡県連盟の活動を通じて、本県の「有徳の人」の育成にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。







## 年頭所感



一般社団法人  
日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長

### 村松 武博

あけましておめでとうございます。

静岡県連盟101年目の年を迎えました。

新しい年という以上に、新しい100年へのスタートです。

昨年、一昨年と新型コロナウイルスの影響で、日本も世界も大きな影響を受けました。

100周年を迎えた静岡県連盟も、熱海市で開催される予定だった全国大会に合わせての記念事業や、いろいろなイベントが中止や規模縮小といった影響を受けました。

しかし、このような中でも多くの企画が実践され、スカウト仲間や地域の人たちに100周年を広くお知らせできました。

事業の企画運営に当たられた皆様、特別賛助会員としてご協力を頂いた多くの方々にお礼申し上げます。

101年目をスタートするにあたって、「みんなが喜んで参加できる楽しいスカウティングの展開」を目指しましょう。

そのために、「団委員会、団会議を充実し、スカウトの活動を支える」、「スカウト経験者、保護者、地域の若者など、若い指導者の確保」、「スカウト、指導者だけでなく保護者とともに活動」を目標に事業の展開をしていきたいと思います。

スカウト運動が100年も続いてきたのは、この運動にかかわったその時、その時の人たちが、スカウトは楽しいと思ったからです。

今現在の私たちも、この楽しさを次の人に伝えなくてはなりません。

スカウトの皆さん、あなたのお友達に、「スカウトはこんな楽しいことをしているよ」とお話しあげてください。

指導者の皆さん、地域や職場で、「スカウトはこんなだよ」とお話しください。

保護者の皆さん、「うちの子供はスカウトになったらこんなに立派になったよ」と、地域の方にお話しください。

そうすればこのスカウト運動は、ずっとずっと継続されていきます。

さあ、今年もスカウトの活動を楽しみましょう。





結成100周年記念事業

# 広報活動と



10月1日～11月30日 静鉄電車の車両に記念ヘッドマークを付けて運行しました。



焼津第1団BS隊が見学に来ました。



静岡駅北口松坂屋JR側に懸垂幕を設置しました。



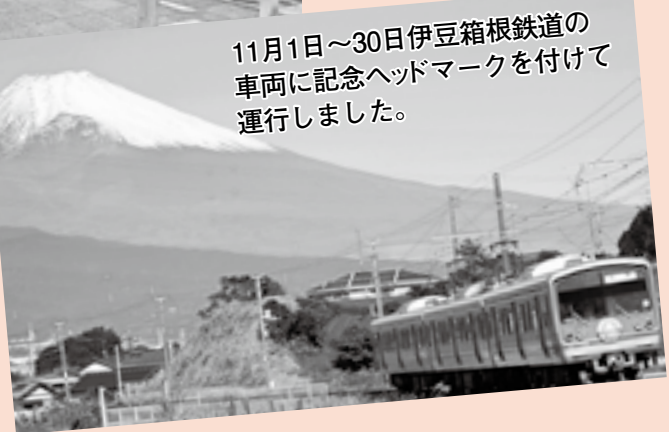
シティエフエム静岡FM-Hi!の番組「日曜サロン」(11月7日放送)で、村松理事長が100周年のイベントを紹介しました。



静岡青葉シンボルロードにて静岡スカウト運動100周年の展示を行いました。



伊豆箱根鉄道三島駅構内に記念横断幕を設置しました。



11月1日～30日伊豆箱根鉄道の車両に記念ヘッドマークを付けて運行しました。



11月13日～28日遠州鉄道の車両に記念ヘッドマークを付けて運行しました。



# 記念集会!!

秋晴れの中10月24日(日)、静岡県連盟結成の地「静岡市葵小学校」校庭で式典が行われました。



村松 理事長の挨拶



県内各団と隊旗が  
集合し  
セレモニーが  
行われました。



式典の  
開幕です。



田辺 静岡市長のご挨拶

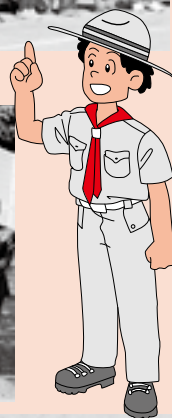


ご来賓の皆様

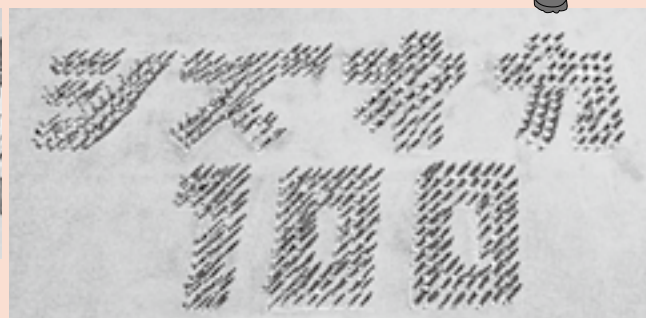


記念碑の  
除幕です

スカウト像の隣に  
記念碑が  
置かれました。



人文字製作中!  
ドローンにて撮影します。



人文字の完成です。



## 結成100周年記念事業

# 結成100周年記念表彰式

11月28日(日) ホテルアソシアにて開催



永年スカウト運動に貢献された“特別表彰者”229名のうち、79名が出席され表彰式が行われました。

※全員の皆様を掲載出来ず、申し訳ございません。

(順不同)

📍小林 透県連コミッショナー



## 静岡地区 記念講演会

11月20日(土) 静岡市葵区「無庵」にて

静岡地区の特別記念事業として、尾崎忠次先達からスカウト運動やスカウトソングの薫陶を受けた苦瓜一夫氏(兵庫県連盟)が講演し、尾崎先達との思い出やカブスカウト時代に指導した宇宙飛行士野口聡一氏との交流などを熱く語っていただきました。





結成100周年

# 記念式典／レセプション

11月28日(日) ホテルアソシアにて開催

記念式典では台湾連盟からお祝いのメッセージがリモートで配信されました。またレセプションでは100周年の歩みの動画(記念誌添付DVD)、これまでのイベント告知を集約した動画、リモート合唱のメイキング動画などが紹介されました。



川勝連盟長挨拶



国旗儀礼

日本連盟 奥島総長挨拶



次の100年に向けて  
ユース代表よりメッセージ



台湾連盟からリモートで  
お祝いメッセージ配信



村松理事長よりお礼の言葉



塩谷副連盟長挨拶



動画の紹介



弥栄

## 新春企画

# 川勝連盟長に村

静岡県連盟結成100周年を記念して、川勝

**村松:**日本で最初に結成され100年の歴史を持つ静岡県連盟に対して、次の100年に向けてどのようなことを期待されますでしょうか。

**川勝:**静岡県連盟は、全国のスカウト運動の先駆けであり、この100年の間、戦争や自然災害、経済の低迷など、幾多の試練を乗り越えてきました。

ボーイスカウト静岡県連盟 連盟長(静岡県知事)

**川勝 平太氏**

近年は、人口減少や少子高齢化のほか、一昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響もあり、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わっています。こうした時代の転換期にあって、次代を担う青少年が体験活動等を通じ、心の豊かさや創造力を高めることのできるボーイスカウト活動は、ますます重要となります。これまでの歴史に誇りと自信を持ち、新しい100年に向け、さらなる発展を目指し、日本のスカウト活動を力強く牽引していくことを期待しています。

**村松:**次世代を担う小・中学生に伝えたいメッセージをお願いします。

**川勝:**昨年の「東京2020オリンピック・パラリンピック」では、多くの県内出身選手がメダルを獲得しました。こうした活躍を目の当たりにしたことで、小・中学生たちにも、憧れや目標が生まれたのではないのでしょうか。“ふじのくに”静岡県の礎は人です。変化の激しい時代を生き抜くため、自らの個性に応じて「才」を磨き、自立を目指すとともに、多様な生き方と価値観を認め、自他を大切にしながら「徳」を積む、「才徳兼備」の「有徳の人」として、未来を切り開いていけることを期待しています。スカウトの8つのおきてを毎日の生活のものさしとして、日々の勉強やスポーツ、スカウト活動に励んでいただきたいと思います。



# 村松理事長が特別インタビュー

券連盟長に村松理事長からのインタビューが行なわれました。

村松: 青少年の社会教育としての「ボーイスカウト活動」に果たして欲しい役割はどのようなものでしょうか。

川勝: 人口減少など、多様化し複雑化する課題と環境の変化に対し、「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりが求められています。スカウト運動の世界共通のビジョンは、「より良き社会を創る (Creating a Better World)」です。体験活動を通じた技能の体得と社会奉仕は、活動の軸であり、自己の成長や豊かさの実感とともに、引いては、社会貢献にもつながります。ボーイスカウト活動を通じて、多くの子どもたちが成長し、若さ溢れる行動力と豊かな感性を生かして活躍するとともに、持続可能な活力ある社会が実現することを期待しています。

村松: 本日はお忙しい中、誠にありがとうございました



ボーイスカウト静岡県連盟 理事長 村松 武博 氏

## 無人島にてサバイバル！ シェルターを 作成せよ！

### 静岡第14団

日時:10月17日(日)

場所:静岡市駿河区

大浜海岸



#### 静岡第14団カブ隊 隊長 徳澄 大輔

無人島でサバイバル?!と銘打って、10月のカブ隊の集会では、遭難したボートが漂着した無人島にて、「救助隊が来るまで台風から雨風をしのげるシェルターを作成せよ!」という指令の下、「たまたま落ちていた」ブルーシート(隊から支給)、海岸に打ち上げられた流木(現地調達)、そしてカブ隊お馴染みのロープを駆使してシェルターを作成しました。「大浜海岸」という名の「無人島」での活動に、スカウト達は組集会で考えた思い思いのシェルターを作り上げていきました。台風という想定なので、当然強風、雨ザーザーという状況を考えたはずなのですが、横殴りの雨をもろに喰らいそうな組のシェルターと、かたや風向きを考慮して横殴りの雨を完璧に想定した組のデザインの比較に、評価をお願いした保護者の審判は後者に軍配。

本来ならこのシェルターでカブ弁をほおぼると最高に美味しいのですが、コロナ感染防止の観点から今回は泣く泣く割愛しました。体験で遊びに来てくれたお友達も、活動を気に入ってくれたようで入隊を決意。新しい仲間も増えて楽しく活動できました。

#### 静岡第14団カブ隊 大塚 堆希

僕は、大浜海岸で組対抗の秘密基地作りをしました。僕の組は、流木を柱として立ててロープで固定し、その上にブルーシートを上からかぶせる作り方をしました。作業の中で一番むずかしかったことは、流木が曲がっていたり、短かったりしていたので、上手く組み立てられなかった事です。もう一つは、ブルーシートが風で外れ

てしまわないよう、ロープで固定する事です。僕の組は負けてしまいましたが、とても楽しい活動となりました。

#### 静岡第14団カブ隊 高森 奏汰

雨風をしのぐ秘密基地は三角形のテント型が楽ですが、全員が余裕で入れる秘密基地にしたいと、4枚の壁を作り立ててつなぐことで四角い建物を作りました。天井が高いと屋根に手が届かないので、低めの天井に組み立て、完成した後地面を掘り下げて全員が立てる高さにしました。風の向きを考えなかったため、雨が吹き込む屋根になったのは残念だったけど、全員のアイデアを取り入れ四角い建物を作れたのは、本当に面白かったし自信になりました。

#### 静岡第14団ビーバー隊 補助者 望月 彰人

当初雨予報、緊急事態宣言解除後活動を待ち望んでいた子供たちの願いが通じたのか、天気は持ちこたえ計画通り決行。気温は下がり浜風もあり肌寒い中でしたが、ビーバースカウト5名と体験者1名が参加し仲良く元気に活動しました。内容は海岸沿いの散策コースに、副団委員長・保護者が待機、剣士・忍者・猫など思い思いの恰好に扮したスカウトを待ち受けてお菓子を手渡すものでした。最後は流木を使ってのタワー作り。普段は何もない海岸ですが、ルールさえ決めてあげれば子供たちの豊かな創造力で立派な遊び場となりました。





## 淡島マリナーパーク

三島地区 大仁第1団 カブ隊 山角 隆倅



カブ隊の夏の活動で一番心に残ったことは、7月11日に淡島マリナーパークで海獣狩りをしたことです。海獣狩りとは、海や水辺の生き物を観察することです。

ぼくが観察した中でもっとも興味深かった生き物は、カエル館にいた世界のカエル達です。ぼくは、昔からカエルに興味があったし、色がカラフルで大きさもちがうので見ているうちに観察したい気持ちが深まってきました。

スケッチしてみると、目や模様が複雑でうまく絵にすることがむずかしかったです。仲間のスケッチをのぞくと、形がしっかりえがかれていてとても感心しました。

次回カエルをえがく時は、ぼくも形をしっかりえがける様に、よくカエルを観察してもっとうまくえがける様になりたいです。

## 淡島マリナーパーク

三島地区 大仁第1団 カブ隊 矢田ひまり



7月にカブ隊で、淡島マリナーパークに行きました。前の活動の時に、組でマリナーパークについて調べて、みんなで見たい場所を出し合って、ショーの時間に間に合うように時間も考えてコースを決めました。私はイルカショーが一番楽しみにしていました。

当日は計画通り、最初にカエル館に行きました。カエル館には日本から世界のカエルまで50種類以上もいました。米粒くらいのカエルから手の平ほどの大きさのカエルもいました。きれいな黄色や青色のカエルもいましたが、もう毒を持っていると知っておどろきました。

私は、イチゴヤドクガエルをスケッチしました。好きな「いちご」が名前に入っていたからです。でも、体は小さくて体の色はオレンジ色、足は青と黒なので、「いちご」には見えません。だから、どうして名前に「いちご」がついているのかふしぎでした。

水族館では、ネコザメやヒトデ、ウニにさわれました。私はさわる前、ヒトデはやわらかいと思っていましたが、かたくてびっくりしました。ネコザメは、ザラザラしていました。ウニは思った通りチクチクしていて、痛かったです。

イルカショーでは、イルカが1頭だけでしたが、高い所のボールをジャンプして口でタッチしたり、輪をくぐったりしました。と

てもかわいかったです。

組のみんなで決めたコースを計画通りに仲良く回る事ができてうれしかったです。これからも、みんなでまとも楽しんで活動できるようにしていきたいです。

## キャンプ

三島地区 大仁第1団 カブ隊 平井 唯斗



日帰りキャンプで楽しみにしていたのは、野外料理と秘密基地作りです。

3組の仲間とメニューや材料を決めたり、ロープワークの練習をしながら基地のイメージをして、ワクワクと待ち遠しかったです。

当日、豚汁とロコモコ丼を作りました。ご飯は飯盒で炊きます。調理は何度かしていたので、火の番や調理の役割分担はすぐ出来て、てきぱきと作ることができました。味

はみんなの力が交わってサイコーでした。

基地作りは組で自由に作って良く、習ったロープワークを使うようにロープとブルーシートが配られました。

場所はすぐに決まったのに、ブルーシートで屋根を作ろうとしたら皆の意見がバラバラで作り出すことができません。他の組は形ができているのに、まだ決まらず、じゃんけんをしても決めることができません。

ためにシートを鉄棒に張ってみたら、皆のアイデアが次々出てどんどん仕事が進み、ペグのとめかたや、木にロープを巻き付ける時のやり方も教えてもらいました。

時間ギリギリまで、落ち葉や枝で飾りも出来てサイコーな基地ができました。

3組は元気で楽しい組でサイコーです。

## 防災訓練

三島地区 大仁第1団 カブ隊 野田 眞生

僕はカブ隊の集会の防災訓練で消化器体験とハザードマップの使い方学びました。伊豆の国市の防災指導員さんたちが教えてくれました。

今まで知らなかったハザードマップの事も使い方も分かりました。ハザードマップを指導員さんと一緒に見て、自分の家は水害レベルが高い所なので、水害の時は近くの高い所、小学校等に逃げると良い事が分かりました。

消化器体験では、安全ピンの抜き方や消化剤の放射の仕方等を教えてもらいました。力一杯レバーを握ったけれど沢山出ませんでした。

また今度、防災訓練の機会が有ったら、やってみたいと思います。



## 約束果たす!

三島地区 三島第5団 カブ隊 (現在ボーイ隊) 遠藤 伊織



わたしはカブ隊に入隊する時、スーパーカブを目指そうと決めました。そしてお母さんと約束をして、がんばりました。

一番心に残っているチャレンジ章は、一番最後に取りの事が出来た「キャンパー」です。

コロナ禍で活動が休止してしまったので、キャンプが出来るか心配でした。でも、くまキャンプに参加することができてとても嬉しかったです。

くまキャンプの活動で覚えた事は、テントの撤営です。自分の力でテントを張ったり、たたむ経験をして、こんなに大変だったんだなという事が分かりました。

隊長や副長やお母さんがいたから、わたしはスーパーカブになる事ができました。本当に感謝しています。

ありがとうございました。これからもがんばります。

## 組長として初めての隊集会

浜松地区 浜松第12団カブ隊 三輪 祐花



私は今期最初の組長に立候補しました。なぜなら、うさぎスカウトのころから組長はずっと憧れの存在だったからです。そのため、10月隊集会で組長として活動するのをとてもとても楽しみにしていました。

初めての国旗儀礼は緊張はあまりせず、練習通りに行うことができました。練習で丁寧に指導してもらったので、成功させることができ良かったです。活動中は、しかスカウトや、うさぎスカウトにロープワークのコツを教えてあげました。みんなができるようになり、喜んでいる様子を見てとてもうれしかったです。集会中はロープで電車を作り、ひよこも入ってとてもにぎやかな活動でした。これからも組長として明るく仲の良い組を作っていきたいです。



**ボーイ通信**  
**BOY SCOUT**

## 皆で歩く辛い楽しい夜道

富士宮地区 富士宮第22団ボーイ隊 井出田秋詞

僕の隊ではオーバーナイトハイクというのをやっています。これは夜通し歩き続けるというものです。それだけ?と思うかもしれませんが、夜歩くのは新鮮味があり普通のハイクと比べても楽しいです。しかし、夜通し歩くのでとても疲れます。始めは楽しくおしゃべりしながら歩くのですが、途中からは無言でもくもくと歩くようになります。その時は疲

れて寒くてとても辛いのですが、中間地点にある休憩場所で豚汁を食べることができます。これがとてもおいしくて暖かくて一気に生き返り、真夜中の駐車場で普通に暖かいご飯を食べられる幸せを感じます。そしてゴールについたときの達成感はとても凄いものです。仲間との団結感やこんなことをすることができた!という自信も付きます。ナイトハイクは年に一度しかありませんが、いつまでも続けたいものだなと思いました。

## 初めてのキャンプ

磐田地区 磐田第7団 ボーイ隊 佐藤 心響

私は中学一年生の途中からボーイスカウトに入団しました。これまでの活動で一番印象に残っているのは、今年の秋に行い、ボーイスカウトとして初めて参加したキャンプです。特に大変だと感じたことは、テントの設営です。その日は雨だったので、一人用ドームテントを一度屋内で組み立ててから屋外へ持っていき、という形で設営をしました。これまでキャンプを行ったことはありませんでしたが、テントを組み立ててそこに泊まるのは初めてでした。そのため、どのように組み立てるかも全く分からなかったのですが、班員たちに教えてもらいながらなんとか組み立てることができたので、良かったです。また、夕食に班で鬺鍋をしたことも面白かったです。各自持ってくる食材にも一人一人の個性が表れていました。このキャンプでは、キャンプの面白さなどいろいろなことを学びました。これからのボーイスカウトの活動でも、たくさんのお話を学びたいと思います。



## 指導者だより

### 今後の活動に向けて

三島地区 三島第5団ボーイ隊 ホーク班 班長 佐野 璃子

10月から新しい体制がスタートし、班長になりました。覚えることがたくさんできて少し大変な面がある中、次長や他の班長と協力しスカウト活動を充実させて、班員や他のスカウトのみんなにスカウト活動を楽しんでほしいと思っています。そのため、班員が何をしたいか、どんなことなら楽しんでもらえるかななどをよく考えてできる限りのことを実現させていきたいです。沢山の体験をしていき、スカウトスキルをあげながらも班員との友情も深めていきたいです。昨年度は、コロナウイルスの影響で制限をされながらの活動が増えていたため、キャンプ場が使えなかったり、隊で集まった



りする回数が減りました。ですが今年度は沢山の活動を設けていただいたり、活動場所の制限が少なくなっていったりして大きな不自由がなく活動できるようになってきました。その感謝を忘れずに日々の活動に積極的に取り組んでいきたいです。

## コロナ禍の夏の思い出

富士地区 富士第6団 副団委員長 渡辺 吉章

皆様こんにちは。昭和26年に発団し今年で66年目を迎えるボーイスカウト富士第6団です。今年はどこも同じだと思いますが、我が第6団においても、コロナ禍の影響を受け、春からスカウト活動を自粛してきました。

そんな我慢の状況が続いた7月末に、急遽持ち上がったのが団倉庫の引越し話です。今借りている倉庫から9月までに移動する必要が生じたのです。団委員と団指導者で話し合い、8月中旬に夏キャンプと引越しを両方やるぞと頑張ろうと準備を進めていたところ、8月6日に県のまん延防止等重点措置が決まり、夏キャンプはできなくなりました。

それからです。災い転じて福となす 天が夏キャンプの代わりに引越しという大イベントを与えてくれたと前向きに考え、1か月をかけて引越しを終えました。暑い夏に草刈り、土台作りなど大汗をかきながらの大変な作業でしたが、これもコロナ禍がくれた夏の思い出です。



## 地域主催行事への参加

清水地区 清水第19団 カブ隊 隊長 藤田めぐみ

11月21日に団の活動拠点である高部地区主催のウォークラリーに清水19団カブスカウト隊として参加しました。制服のスカウトを見て「昔自分もデンマザーだった」「制服に日の丸を付けていてすごいね」と地域のたくさんの方々から声をかけて頂きました。

スカウトが地域社会の一員としての自覚と責任に気づき、また社会を知るにはこのような地域主催の行事に参加することは有意義な事だと考えていたので、今回この行事を案内してくれ



た育成会長にも感謝をしています。

高部地区の文化財めぐりラリーを行い、特別公開された仏像や太鼓演奏を見たりと楽しい時間を過ごしました。参加賞として一人ずつお米をもらい、福引きにも当選したりと、保護者も大変喜んでくれました。

## 隊ハイキング

沼駿地区 裾野3団カブ隊 隊長 原 正彦

10月に予定していた隊ハイキング、コロナの影響で中止となりました。9月、10月と皆で集まっていた活動ができずとても残念でした。密になるのを避け、一緒に食事をしない、日程等により断念しました。11月の組集会としてハイキングの内容をパート別に体験させようと暗合文のルールを決めコンパスの使い方、追跡サインの作り方、距離の測り方などを公園の広場で体験させました。



6人のスカウトを3人づつに分け指導者が一人づつ付き密にならないよう行いました。暗合文はあいうえおを数字で表す毎年やっている方法を少しルールを変えて作りました。

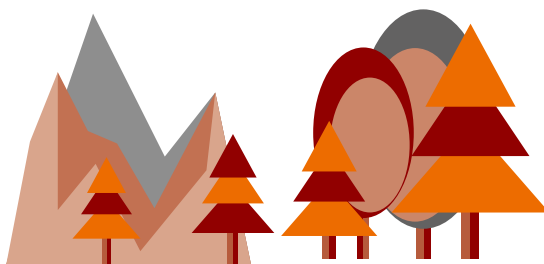
熊スカウトは把握できていましたがうさぎスカウトは無理でしたので解説書を作りそれに沿って文を作ったり解説したりしました「暗合文は読みとくのがむずかしかった」高村

続いてコンパスと目測、00度の方向に00メートル進む、自分の一步が何センチだから何歩という感じでポイントをいくつか設けて実践させました「さいしょはむずかしかったけど時間がたつにつれてだんだん楽しくなりました、一番たのしかったです」菅谷弟

次に追跡サインですが、我隊では自然の中でのハイキングはカブでは難しく街中で行うにはどうしたらいいかと考え付箋テープを使うことにしました、もちろん自然物を使ったサインも教えて代替品であることも理解させて行いました。付箋の色により進め、危険行くなを決め分かれ道で付箋を配置しながら歩かせました「いろいろ工夫をした、これをやるのは2回目です。ある程度復習ができてよかったです」松本

カブスカウトにはまだ早いとおもわれますが彼らも教えれば理解はできます。その時楽しいと感じてくれれば次に繋がっていくと思います。さらに高度の技術はボーイ隊、ベンチャー隊で深めて行けば良いのでは、今は興味をもってくれる事を期待してハイキングの訓練を行いました。

来年は普通の活動ができることを期待し組集会を終えました。





## 金谷第 3 団 ナイトハイク

### ●金谷第3団 カブ隊 孕石 寛武

ぼくは昨日カブ隊でナイトハイキングに行ってきました。夜道を歩くなんて怖くて行きたくないと思っていましたが、実際に行くとチェックポイントのクイズが楽しかったです。最初のチェックポイントは紙コップの中においがする物が入っていてそれをアルミホイルでつつんでアナをあけてある物を当てるゲームでした。2番目のチェックポイントはうまい棒の味を当てるゲームでした。そして次はライトをつけずに光を探して歩くゲームで、楽しかったです。最後にハッピーターン2枚とチョコの山を隊長からもらいました。うれしかったです。

### ●金谷第3団 カブ隊 井村 華也

10月23日にナイトハイクをしました。気温が低く、寒くなるのが心配でした。長い階段をのぼったところから明かりを消しました。

お月さまは出てたけど、林の中はかい中電灯が必要だなと思いました。高速道路の高架橋から見た車のライトはとてもきれいでした。地図を見て歩いたので途中で止まったりして歩きました。夜地図を見るためにもかい中電灯は必要だとわかりました。またみんなとナイトハイクしたいです。

### ●金谷第3団 保護者 井村由有子

娘達も私も生まれて初めてのナイトハイク。出発地と到着地しか知らされていなかったの地図を見ながら進んでいく過程がとても楽しみでした。年上の組長と一緒に現在地を確認したり、ポイントでのクイズを班員皆で話し合ったり、協力して前進する姿が頼もしかったです。これ以前の活動では年上の隊員の後ろをついて行く事が多かったの、今回は夜歩くというワクワク感も相まって到着時は皆満足げな笑顔でした。



## おめでとう!! 21 名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

### 令和4年1月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
浦口ようすけ	富士	富士第10団 B S隊	前川 伊吹	島田	島田第2団 C S隊
清 さくら	富士	富士第10団 B S隊	星野 梨空	磐田	磐田第6団 BVS隊
山下 舜希	富士	富士第10団 B S隊	村松諒多朗	磐田	磐田第6団 BVS隊
清水 滯	富士	富士第10団 B S隊	梅原 恵	磐田	磐田第6団 C S隊
土屋 舜	富士	富士第10団 B S隊	都築 湊	浜松	浜松第14団 C S隊
山下 紀帆	富士	富士第10団 C S隊	大樂 蓮緒	浜松	浜松第12団 C S隊
青山 希羽	富士	富士第10団 C S隊	三輪 祐花	浜松	浜松第12団 C S隊
望月 栄来	富士	富士第10団 C S隊	中村 理人	浜松東	浜松第30団 B S隊
堀部七咲希	富士	富士第10団 BVS隊	高塚 朱里	浜松東	浜松第30団 C S隊
中林 夕結	静岡	静岡第14団 C S隊	高塚 葵	浜松東	浜松第30団 BVS隊
小長谷 京	静岡	静岡第27団 C S隊			





# マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで



**ボーイスカウト結成100周年誌が完成**  
ボーイスカウト結成100周年を記念して、ボーイスカウト日本連盟が「ボーイスカウト結成100周年誌」を完成させた。この誌は、ボーイスカウトの歴史や活動の様子、そしてボーイスカウトの心構えなどを紹介している。また、ボーイスカウトの活動を通じて、社会に貢献している様子も紹介されている。この誌は、ボーイスカウトの活動に興味のある方にとって、大変貴重な資料となる。また、ボーイスカウトの活動を通じて、社会に貢献している様子も紹介されている。この誌は、ボーイスカウトの活動に興味のある方にとって、大変貴重な資料となる。

令和3年9月25日(土) 静岡新聞 掲載

**無線通じて世界と交流**  
ボーイスカウト日本連盟が主催する「ボーイスカウト国際イベント」に参加。ボーイスカウトの活動を通じて、世界と交流している様子を紹介している。また、ボーイスカウトの活動を通じて、社会に貢献している様子も紹介されている。この誌は、ボーイスカウトの活動に興味のある方にとって、大変貴重な資料となる。



令和3年10月19日(火) 静岡新聞 掲載



**ボーイスカウト結成100周年誌が完成**  
ボーイスカウト結成100周年を記念して、ボーイスカウト日本連盟が「ボーイスカウト結成100周年誌」を完成させた。この誌は、ボーイスカウトの歴史や活動の様子、そしてボーイスカウトの心構えなどを紹介している。また、ボーイスカウトの活動を通じて、社会に貢献している様子も紹介されている。この誌は、ボーイスカウトの活動に興味のある方にとって、大変貴重な資料となる。

令和3年10月19日(火) 中日新聞 掲載

令和3年11月6日(土) 静岡放送

**ボーイスカウト 創立100周年祝う 結成の地で記念集会**  
ボーイスカウト結成100周年を記念して、ボーイスカウト日本連盟が「ボーイスカウト結成100周年誌」を完成させた。この誌は、ボーイスカウトの歴史や活動の様子、そしてボーイスカウトの心構えなどを紹介している。また、ボーイスカウトの活動を通じて、社会に貢献している様子も紹介されている。この誌は、ボーイスカウトの活動に興味のある方にとって、大変貴重な資料となる。

令和3年11月5日(金) 静岡新聞 掲載

**伊豆新聞**  
「食品ロス削減考えよう」  
使わない食材 調理でおいしく  
1000円未満 地元産野菜特別メニュー



令和3年11月22日(月) 伊豆新聞 掲載

**各種競技で団員ら交流**  
ボーイスカウト7団が地区ラリー

令和3年11月9日(火) 伊豆日日新聞 掲載

**ボーイスカウト 結成100周年祝う**  
ボーイスカウト結成100周年を記念して、ボーイスカウト日本連盟が「ボーイスカウト結成100周年誌」を完成させた。この誌は、ボーイスカウトの歴史や活動の様子、そしてボーイスカウトの心構えなどを紹介している。また、ボーイスカウトの活動を通じて、社会に貢献している様子も紹介されている。この誌は、ボーイスカウトの活動に興味のある方にとって、大変貴重な資料となる。

令和3年12月6日(月) 静岡新聞 掲載

**伊豆新聞デジタル**  
ボーイスカウト結成100周年誌が完成  
ボーイスカウト結成100周年を記念して、ボーイスカウト日本連盟が「ボーイスカウト結成100周年誌」を完成させた。この誌は、ボーイスカウトの歴史や活動の様子、そしてボーイスカウトの心構えなどを紹介している。また、ボーイスカウトの活動を通じて、社会に貢献している様子も紹介されている。この誌は、ボーイスカウトの活動に興味のある方にとって、大変貴重な資料となる。

令和3年11月10日(水) 伊豆新聞デジタル 掲載

# おしらせコーナー

## ボーイスカウト講習会 静岡第621回 清水

- 日 時: 令和4年3月6日(日)
- 場 所: 清水区興津生涯学習館
- 申込み: 2月20日(日)まで  
清水地区指導者養成委員長 必着

## ボーイスカウト講習会 静岡第622期 富士

- 日 時: 令和4年3月13日(日)
- 場 所: 富士市教育プラザ
- 申込み: 2月27日(日)まで  
富士地区事務長 必着

## ボーイスカウト講習会 静岡第623期 静岡

- 日 時: 令和4年3月13日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 2月27日(日)まで  
静岡地区事務長 必着

## 県連トレーニングチーム スタッフ養成研集会

- 日 時: 令和4年3月5日(土)~6日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 2月19日(土)まで  
静岡県連事務局 必着

## 日本連盟トレーナー 研究集会

- 日 時: 令和4年2月6日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 1月15日(土)まで  
県連盟事務局 必着

## 障がい児スカウティング研修会 令和4年度 障がい児 スカウティング研修会

- 日 時: 令和4年2月27日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 1月30日(日)まで  
県連盟事務局 必着

## ボーイスカウトへの お問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局  
(☎054-255-6185)までご連絡下さい

ホームページ <http://bs-shizuoka.com>

Facebook <https://www.facebook.com/ShizuokaScoutCouncil/>もご覧下さい。

## 編 集 日 記

コロナ感染症拡大に伴う緊急事態宣言が撤回されて以降、オミクロン変異株の動向も気になるところでありますが今までのストレスを払拭するかのよう各団体の活発な活動が嬉しい限りです。

静岡県連結成 100 周年のイベントも滞りなく終了しました。今回の「たちばな」は 100 周年イベント、広報の数々を特集しました。本年度も恒例となりました「写真コンテスト」を開催します。詳細につきましては県連事務局までお問合せ下さい。多くの応募をお待ちしております。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2022 年 1 月  
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟  
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1  
県青少年会館内  
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186  
<http://bs-shizuoka.com>  
編集責任者 総務・広報委員長 松田 茂  
印 刷 三富印刷株式会社  
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678  
発行部数 4,000 部